

事務事業名		堆肥センター管理運営委託事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		農業課	H28係等名	生産振興係	H27係等名	生産振興係			
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理					
目的	対象(誰・何を)	中心市街地収集エリア内の家庭生ごみ 堆肥センター処理量(家庭生ごみ含む)			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	良質な堆肥を生産する				収集エリア内の家庭生ごみ搬入量(t)	170		
	向上させたい上位施策の成果指標	再資源化率(家庭系一般廃棄物)%				処理量(牛糞、家庭生ごみ、廃培地等)(t)	5921.4		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	堆肥生産量(t)			2000	2000	2000	-	
	定性目標								
事業概要	<p>センターは平成16年6月に本格稼働し、市内で発生するきのこの廃培地を水分調整材に、市街地の家庭生ごみ等を発酵促進材に、畜産農家の畜ふんを主原料に、リサイクル発酵堆肥を生産し、市内中心にバラ・袋づめの2形態で販売している。本施設は、JA、事業参画農家(5戸)、飯田市の出資により設立した「有限会社いいた有機」に管理運営を委託しており、独立採算での事業運営がなされている。本会社の主たる収入は、堆肥原料(畜ふん、生ごみ、きのこ廃培地、事業系生ごみ)の処理経費相当分及び堆肥販売収入であり、市では、中心市街地の家庭生ごみ及び公共施設(丸山共同調理場、東・西中、浜井場・追手町・丸山小・市役所)生ごみの処理経費相当額を委託料として支出している。また、当該施設用地、8,827㎡分は借地として市が借地料を負担している(地権者2名 契約期間20年)。機械設備の定期検査(車検)、環境影響調査は施設所有者である市が行っている。</p>								
事業内容				名称			活動指標		
27年度事業内容	1 管理運営委託料			1 施設稼働日数			1 366日		
	2 環境影響調査 定期臭気・水質検査委託料			2 定期環境調査回数			2 1回		
	3 用地取得(H27.12月)			3 取得面積			3 3,450㎡		
	4 堆肥発酵処理装置入替 1系統								
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		1,433	16,311	15,951	1,350				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		1,433	16,311	15,951	1,350				
人件費計(千円)②		1,073		894					
正規職員所要時間		300		250					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		2,506	16,311	16,845	1,350				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>家庭生ごみ、畜ふん、菌茸廃培地から良質で安定した堆肥生産により、管理運営が適切に行われている。食品事業者及び堆肥販売業者と連携して、事業者から排出される食物残さを混合した堆肥を使用し、生産された農産物を食品事業者で販売する地域内循環の構築に向け調整を行った。稼働から10年以上が経過し、攪はん機の故障によるセンター業務の全面停止が心配されるため、2系統のうち1系統の大規模修繕を実施した。</p>								
改革改善の考え方	①問題点	事業の性質上、施設設備の経年劣化が進み、大規模な改修が必要となってきている。							
	②改革提案	施設設備が故障すると事業自体が停止してしまうため、現段階で改修が必要な施設や設備について、優先度の高いものから計画的に改修を進めていく。							